

基本構想に係る「構成の意図」

大分類		目次		構成の意図	
序論の部分	第1部 はじめに				
	第1章	第5次総合計画について 1. 計画の目的 2. 計画の性格 3. 計画の構成と期間 4. 基本計画の進行管理		●計画の基本的事項の確認を記載	
	第2章	亀岡市を取り巻く社会経済の潮流 1. 少子化・高齢化と人口減少 2. 地域に波及する人・モノ・情報の国際化 3. 情報通信技術の進化と普及 4. 常態化する自然災害リスク 5. 地球環境問題の深刻化 6. 産業を巡る環境変化		●計画策定する上で留意すべき主な外部環境を記載	
	第3章	亀岡市のまちづくりの今		●第4次総計の特筆すべき成果を記載 (第5次計画へのステップとなる主な成果)	
	第4章	亀岡市の人口の見通し 1. 10年後の定住人口 2. 活力・にぎわいを生み出す交流人口・関係人口		●現状の自然動態、社会動態が同水準で推移した場合の確認（社人研推計） ●施策展開により現状を改善（人口減少緩和）させていく必要性を記載 ●定住人口以外でまちの活力を維持する視点の必要性を記載	
まちづくり全体の大きな方向性の部分	第2部 まちづくりの展望				
	第1章	目指す都市像		●まちづくり全体に係る目指す方向性を記載	
	第2章	土地利用の基本方針			
		1. エリア別土地利用の基本方針	●地理的特性を活かした計画的な土地利用の考え方を記載 (山間部、農地や既存集落、市街地、桂川周辺地域)	詳細は個別計画の「都市計画マスタープラン」にて位置づけ	
		2. 都市構造の基本方針	●まちづくりの拠点や核となるもの。交通ネットワークの考え方を記載。		
		3. ゾーン別地域振興の方向	●ゾーンの特性に基づく、振興の大きな方向性を記載		
	第3部 重点テーマ				
		1. 子育てしたい、住み続けたいと思えるまちへ 2. スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が活性化するまちへ 3. 環境先進都市の実現で世界に誇れるまちへ 4. セーフコミュニティ、多文化共生によりだれもが安心して暮らせるまちへ		●今後のまちづくりにおいて、重点的に取り組む大きな方向性を記載 ※10年先を見通した重点テーマであるため、個々具体的な表現は避ける ●第4部「施策の基本方針」を横断するような取り組みを設定	
	第4部 施策の基本方針〔施策の大綱〕				
	第1	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：	●各分野毎の基本的な方向性を記載 ※個々の施策は、基本計画部分で記載。基本構想では方向性のみ。	
第2	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：			
第3	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：			
第4	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：			
第5	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：			
第6	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：			
第7	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：			
第8	○○○○○○○○○○まちづくり	方向性：			